

令和4年度企業版ふるさと納税に係る事業報告について

令和5年9月22日

うきは市長 高木典雄

(企画財政課)

令和4年度に企業版ふるさと納税により寄附を受領した、まち・ひと・しごと創生寄附活用事業について、下記のとおり報告します。

記

1.

(1) 事業の名称

うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画【デジタル人材の育成】

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	45,875,000円
当該事業に対する寄附の受領額	5,100,000円

(3) 事業内容

計画名	うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画
分類	【デジタル人材の育成】
事業の目的	プログラミング教室等を開講し、次代を担う人材の育成を図ります。
令和4年度事業	4,587万円
事業の成果	令和4年9月から令和5年3月までの半年間の期間で、子ども向けのプログラミング教室を開催しました。 基礎的な技術を習得するため、タイピングの実習から開始し、ビジュアルプログラミング「Scratch」を用いたデジタル紙芝居を作成しました。デジタル紙芝居の作成にあたり、「FireAlpaca」を用いたイラスト・アニメーションの制作や、Googleドキュメントを使用し脚本作成を行うなど、プログラミング技術の拡充を図りました。 また、デジタル人材の活躍の場を創出するため、うきは市のデジ

	タル自治体の推進を図りました。
--	-----------------

2.

(1) 事業の名称

うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画【人材育成事業】

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	26,066,000 円
当該事業に対する寄附の受領額	3,000,000 円

(3) 事業内容

計画名	うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画
分類	【人材育成事業】
事業の目的	うきは市が持続可能なまちの形成に向けて人口を確保していくには、基幹産業である農業を支えていく新たな人材と、未来を担う若者の人材の育成が必要不可欠であるため、その人材を育成するための事業を推進します。
令和4年度事業	2,606万円
事業の成果	農業を支える新たな人材を育成するため、農業を営みながら他の仕事にも携わり、両方で生活に必要な所得を確保する「半農半X」という新たなライフスタイルを推進しました。具体的には、農業を体験する施設や宿舎を確保し、地元住民と連携しながら、移住希望者に提供と指導を行いました。 未来を担う若者の人材育成を目的に、登山や河川を使用したアクティビティなど、様々な体験プログラムを実施しました。また、子ども議会を開催し、うきは市の未来について、市長に提言等を行いました。 うきは市民の幅広い人材育成と生涯学習の実現に向けて、うきは市民大学を開講しました。英会話や韓国語の語学や、WordやExcelなどのパソコン教室、ダンスやガーデニングなどの生きがい作りなど、計60講座を開講しました。

3.

(1) 事業の名称

うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画【うきはの水プロジェクト】

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	21,859,000 円
当該事業に対する寄附の受領額	300,000 円

(3) 事業成果

計画名	うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画
分類	【うきはの水プロジェクト】
事業の目的	うきは市は全国の市で唯一上水道がないため、市民の9割が地下水をそのまま利用しています。安全な地下水を今後も維持・継続していくため、水源や河川など地下水にかかる環境の保全を推進していきます。
令和4年度事業	2,185万円
事業の成果	地下水の現状を把握するため市内30箇所でモニタリング調査を実施し、地下水の安全性を担保しました。 環境保全を推進するため、市内に生息する動植物の現状を市内6箇所でモニタリング調査を実施しました。 河川愛護の啓発のため、市民団体等によるイベントを開催しました。

4.

(1) 事業の名称

うきはの屋形古墳群整備&賑わい創出プロジェクト

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	35,352,000 円
当該事業に対する寄附の受領額	100,000 円

(3) 事業成果

計画名	うきはの屋形古墳群整備&賑わい創出プロジェクト
事業の目的	うきは市は1年中フルーツが採れる「フルーツ王国」として人気が高く、年間240万人(令和元年)が訪れる北部九州屈指の観光スポットです。 なかでも6世紀に造られた屋形古墳群は歴史的価値が高く、観光資源として高いポテンシャルを持っているにも関わらず知名

	<p>度が低く、その魅力を十分発揮できないまま現在に至っています。</p> <p>受入体制も十分でなく施設も質素であることから、施設を再整備し、文化財である古墳の保存と活用を進めるとともに、フルーツ地帯に位置する古墳という個性的な魅力をPRして地域を活性化します。</p>
令和4年度事業	3, 535万円
事業の成果	<p>うきは市内の古墳群を広くPRするため、古墳公開見学会の開催や、社会科見学の受け入れを行いました。</p> <p>朝田古墳群の国史跡指定100周年を記念し、講演会やウォーキングイベント等を実施しました。</p> <p>屋形古墳群の周辺散策路等を整備し、見学者を広く受け入れることが可能となりました。</p>

5.

(1) 事業の名称

うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画【ラグビータウンプロジェクト】

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	16,400,000円
当該事業に対する寄附の受領額	16,400,000円

(3) 事業内容

計画名	うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画
分類	【ラグビータウンプロジェクト】
事業の目的	<p>ラグビーを通じた「感動」「笑」「夢」溢れるまちづくりへ取り組みます。</p> <p>ルリーロ福岡の活動を格とするシビックプライドの醸成を図ります。</p> <p>地域の企業・事業者との連携による地域活性化に向けた取り組みを行います。</p>
令和4年度事業	1, 640万円
事業の成果	<p>令和4年4月にルリーロ福岡が発足し、9月から九州トップリーグに参戦し、リーグ戦で初優勝を飾りました。</p> <p>令和4年6月には地域活性化及び地方創生に係る連携協定を、</p>

	<p>ルリー口福岡・うきは市・うきは市商工会・浮羽究真館高校の4者と締結しました。</p> <p>令和4年度末時点で、ルリー口福岡の所属選手36名のうち25名がうきは市内を中心に就職し、13名がうきは市内に移住するなど、様々な形で地域活性化に貢献しています。</p>
--	---

6.

(1) 事業の名称

うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画【観光振興プロジェクト】

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	51,596,000円
当該事業に対する寄附の受領額	600,000円

(3) 事業内容

計画名	うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画
分類	【観光振興プロジェクト】
事業の目的	<p>受け入れ体制を強化して、地域自らが観光客を集める観光まちづくりを行います。</p> <p>うきは市の名前を広く浸透させ、うきはの地を観光地としてブランド化します。</p>
令和4年度事業	5,159万円
事業の成果	<p>うきは市の関係人口を創出するため「うきはファンクラブ」をアプリとして改修し、定期的な情報発信や、イベント来場等によるファンクラブポイントを進呈するなどして、プロモーション活動を行いました。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ宿泊客の回復を図るため、うきは市日帰り・宿泊事業を実施し、福岡都市圏を中心に宿泊客の呼び込みを行いました。</p> <p>九州朝日放送のふるさとwishや西日本新聞の広告等を活用し、プロモーション活動を行いました。</p>